

# ALUMNA 同窓生

中村 絢乃さん (Chelsea)  
高森 42 回生



日本宇宙法学生会議の宇宙法模擬裁判日本大会に参加し、団体として準優勝（一番左が中村さん）

私は2020年にハイスクールを卒業し、2021年まで文法クラスに通って来ました。現在は獨協大学法学部の4年生で、国際法を専攻しています。

国際法は、条約など国家間の関係を定める法律で、ゼミでは模擬国際会議や模擬国際裁判を行いながら、実践的な学びを深めています。模擬国際会議は、例えば国際連合を想定し、参加者が国や国際組織の代表としてテーマに基づいて議論や交渉を行います。模擬国際裁判は、一般的には国際司法裁判所 (ICJ) や国際刑事裁判所 (ICC) を想定し、国家間で発生した問題が解決しない場合を想定して、参加者が原告・被告に分かれて国際法に基づいた紛争解決をシミュレーションするものです。

明泉に通っていた頃、特に記憶に残っているのが中1アメリカ研修旅行と高2で参加したハイスクールのヨーロッパ研修旅行です。アメリカ研修旅行では、思っていた以上に英語を話すことができず悔しい思いをしました。リベンジとしてヨーロッパ研修旅行に参加したときには、英語でのコミュニケーションが格段にスムーズになり、自分の考えを伝える機会



ヨーロッパ研修旅行にて

が増えたことで成長を実感しました。

明泉での体験は、単に英語を学ぶだけでなく、遊びの中で自然に英語に触れる貴重なものでした。特に、ネイティブの先生方から継続的に学べたことは、今の私にとってかけがえのない経験です。



個人でも原告弁論第1位、JAXA 特別賞を受賞

このような環境で海外の文化に触れる機会が多く、徐々に国際情勢にも強い関心を持つようになりました。その中で国際社会がどのような秩序のもとに成り立っているのか、その基盤となる法に興味を抱いたことが、国際法を学ぶきっかけとなりました。国際法は原文が英語であるため、和訳されていない条約や判例などはすべて原文で読む必要があり、読解力が求められます。明泉で培った英語力は、英語で行われる授業や資料の読解などに役立っています。模擬裁判の大会でも、必要な判例をすべて英語で確認して重要な箇所を抽出するなど、英語が不可欠なものとなっています。

就職先は英語を使用する機会は少ないのですが、今後のキャリアアップを見据え、英語を含めた必須スキルを着実に身につけていきたいです。

## 国際交流事業で

### 明泉生が通訳ボランティア



8月22日・23日、国際交流合宿「笑顔で繋ぐ世界への懸け橋～Future Leaders EXchange program～」で、明泉生が通訳のボランティアをしました。

このイベントは、公益社団法人山台青年会議所と「笑顔溢れる子どもの未来創造委員会」の共催で、フィリピンから招いた9名の中高生と山台市内の中高生28名が参加して行われ、明泉生は国や言葉の壁を超えて参加者が互いの理解を深められるよう、コミュニケーションをサポートしていました。

10月末にも、グローバル教育や留学・国際交流に関するイベントが開催されるとのことです。

#### 子どもの未来創造委員会 委員長 菅野 麻那様からのコメント

通訳し始めたばかりの時は緊張がガチガチでしたが、分単位で変わっていく明泉生の表情や取り組み方、そして最終日の成長に心から驚いたとともに、大きな感動をもらいました。英語力もすばらしく、大活躍していただきました。



10月の開催イベント詳細はこちら！



#### ボランティア参加者

- 全日程に参加して活動
- ・ハンゼン 登葉 (A山G7 / Nina)
  - ・小林 屋瀬 (A山G7 / Sofia)
  - ・阿部 航大 (高森G8 / Pete)
- スポット参加で活動
- ・櫻井 那々瀧 (高森G7 / Renae)
  - ・遠藤 賢介 (高森G10 / Sid)
  - ・大西 梨実 (高森G10 / Mitch)
  - ・大西 柚実 (高森7)ミニアハイスクール卒業生 / Matthew)

## Bible verse

主に信頼する者に祝福があるように。その人は主を頼みとする。その人は、水のほとりに植えられた木。流れのほとりに根を伸ばし、暑さが来て暑さを知らず、葉は茂って、日照りの年にも心配なく、実を結ぶことをやめない。

エレミヤ書17章 7-8節

## 私たちの心を守る聖書の教え

### 2 不安や恐れからの解放

このシリーズでは、私たちの心を守ってくれる聖書の教えをお話しています。今回は、私たちの心に芽生える不安や心配、恐れを払拭し、平安を与えてくれる神様のことを紹介します。

#### 不安や心配の原因

世界中で今や4人に1人は精神的な健康に何らかの問題を抱えていると言われており、それは思春期から25歳までの間に始まるケースが多いと言われています。また、ハーバード大学の研究では、50%以上の人は人生のどこかでそのような状態になるという報告もありました。これらの症状は、心にある心配や不安から来ることがほとんどです。

私たちに不安や心配を抱かせることはたくさんあります。経済的な心配、将来への漠然とした不安、仕事について、人間関係や健康の心配など、おそらく誰でも少なからずこのような心配や不安を抱くことがあるでしょう。特に現代においては、世界的なパンデミック、自然災害、「戦争や戦争のうわさ」、世界経済への不安など、今後世の中がどうなるのかといった不安や心配の要因は絶えません。

#### 不安や恐れを払拭するために

人間は、不安や恐れから逃れるために様々なことを試みますが、真の解決には至りません。お金がたくさんあれば万事安心というわけではありませんし、逆に心配が増すこともあるでしょう。また、心配を忘れるために快楽に没頭したり、痛みや恐れを和らげるためにお酒に浸ったりすることもあります。一時的に苦しみを忘れることはできても、不安や心配を払拭する効果はありません。

聖書には、知恵の言葉、助けになる教えがたくさんあります。生活面の心配については、イエス様は次のように語りました。

何を食べようか何を飲むか、自分のいのちのことで心配したり、何を着ようかと、自分のからだのことで心配したりするのはやめなさい。空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。それでも、あなたがたの天の父は養っていてくださいます。あなたがたはその鳥よりも、ずっと価値があるではありませんか。あなたがたのうちだれが、心配したからといって、少しでも自分のいのちを延ばすことができるでしょうか。なぜ着る物のことで心配するのですか。野の花がどうして育つのか、よく考えなさい。働きもせず、紡ぎもしません。しかし、栄華を極めたソロモンさえ、この花の一つほどにも装っていませんでした。

今日あっても明日は炉に投げ込まれる野の草さえ、神はどのように装ってくださるのなら、あなたがたには、もっと良くしてくだらないでしょうか。

ですから、何を食べようか、何を飲むか、何を着ようかと言って、心配しなくてよいのです。あなたがたにこれらのものすべてが必要であることは、あなたがたの天の父が知っておられます。

まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。明日のことは明日が心配します。苦勞はその日その日に十分あります。

〈マタイの福音書 6 : 25-34 抄〉

心配や不安についての研究で、人が心配する事柄の91%は、実際には起こらないという結果が出ています。85%という結果の研究もあります。心配事の中で平均10%前後のことしか起こり得ないこと、そして心配をしたところで結果を変えられないことも多々あることを考えると、イエス様が言われた「明日のことまで心配しなくてよい」の言葉が真実味をおびます。

#### 神様への信仰と信頼

もう一つ心の平安に結びつく大きな決め手が

## 聖書



園長  
ダニエル・ファンガー

あります。それは、神様への信仰と信頼です。私たちの創造主であられる天の神様は、私たちを愛しておられます。私たちが恐れや不安を抱くことを望んでおられません。

あなたがたの思いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。

〈ペテロの手紙第一 5 : 7〉

どうか、希望の神が、信仰によるすべての喜びと平安でああなたがたを満たし、聖霊の力によって希望にあふれさせてくださいますように。

〈ローマ人への手紙 15 : 13〉

何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていたきなさい。そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と意思をキリスト・イエスにあって守ってくれます。

〈ピリピ人への手紙 4 : 6-7〉

「すべての理解を超えた神の平安」とあります。人間的な平安は、「経済的にも健康の面でも、人間関係においてもすべてうまくいっている時」にだけ手に入れることができます。これに対し、神様からの平安は、神様への揺るぎない信仰と信頼から来ます。神様が自分を愛し自分を見捨てることなく、最終的には自分を天の国に迎えてくださると信じる時、得られるのです。そしてその平安は私たちの状況に左右されるものではありません。

みなさんでもぜひ天の神様を信じ、自分の煩いや心配事を神様に打ち明けてみてください。神様への信頼から来る喜びと平安が満ちあふれてくるでしょう。ぜひ、自分のすべてを神様にゆだねて、毎日希望にあふれた生活をしてください。



# Friends Autumn 2024

「読む」とつながる。「読む」とひろがる。

MeySen  
Newsletter  
No. 208



## 幼稚園用 おもちゃを寄付していただきました



▲左から七十七銀行北山台支店兼荒巻支店の高玉華人支店長、園長、甘木社長、甘木常務

陸前総合開発株式会社様と七十七銀行様より、10万円分の幼稚園用おもちゃを寄付していただきました。

6月25日には、陸前総合開発(株)代表取締役の甘木英壽さんと取締役常務の甘木允両子さんにお越しいただいて贈呈式をしました(常務の允両子さんは卒園生で、現在はお子さんが丸山キャンパスに通っています)。園の活動を支えるご寄付、本当にありがとうございました。

※今回の寄付は、七十七銀行が企業の社債の発行手数料を教育や福祉分野などに寄付する「77SDGs私募債(寄付型/社会貢献コース)」によるもので、陸前総合開発株式会社様が明泉を寄付先に指定して下さって実現したものです。

いただいた寄付で購入した  
お医者さんセットとスコップ



発行日: 2024年10月15日

発行: 宮城明泉学園 www.meyсен.ac.jp

Friends Newsletterは年に4回、カンガルークラブからハイスクール、同窓生などに関するニュースをお届けする学園ニュースレターで、明泉サイトでも公開しています。



本紙で引用している聖書は、以下の聖書によります。聖書 新改訳 © 新日本聖書刊行会

## Friends 「読む」とつながる。「読む」とひろがる。

English

# 泉高校とプレミアK4・K5の交流会

## アメリカ人留学生・英語科生徒を招いて

7月3日、泉高校英語科の生徒8人とアメリカからの留学生8人が高森キャンパスを訪れ、プレミアK4・K5の子どもたちと英語のみで会話したり遊んだりする交流会が開かれました。

プレミアスクールの少人数制は英語学習において大きな利点ですが、会話する相手が限られてしまうことも否めません。そこでプレミアキンダーガーデンでは、子どもたちが園以外の人と英語でコミュニケーションをとる機会をつくり、知らない人と話すことにも自信を持てるようにという目的で毎年高校生をお招きしています。一緒に英語を学ぶ大切な機会として、泉高校英語科のご協力のもと、今後も年3回の交流を継続していければと考えています。



参加した高校生の感想

今回プレミアスクールを訪問させていただき、とても楽しい時間を過ごすことができました。子どもたちは明るく親切で、私たちと積極的に会話してくれました。

英語の発音がとてもよいことやネイティブの先生方の発音を聞き取れていることにとても驚きました。一緒にゲームをしている時は元気いっぱいな子どもたちも見られました。

今回の交流は、子どもたちからたくさんよい影響を受けて、これからも英語に関わっていきたいと思える機会になりました。留学生とともに明泉の皆さんとコミュニケーションできるのは貴重な経験なので、参加できてうれしかったです。

泉高校2年  
阿部 楓、市川 璃乃

参加した留学生の感想

幼稚園訪問は、日本滞在中でも楽しみにしていた予定の一つです。私たちの訪問をみな喜んでくれて、とてもかわいい親切な子どもたちでした。

英語と日本語両方が流暢なことに感心しましたし、ゲームも楽しかったです。すぐに打ち解けて仲良くなり、ゲームの間ずっと私から離れず手をつないで過ごした子もいて、子どもたちと一緒で過ごしたいと思ったほど、本当に楽しい一日でした。

ファーンクリーク高校(アメリカケンタッキー州)  
ザッカーリー・パークハート  
Fern Creek High School  
Zachary Burkhart



英語の大会で今年も明泉生が  
上位入賞を果たしました。

# 明泉生が英語力を発揮して大活躍!

大人にとっても難関である実用英語技能検定(英検)の1級に合格しただけでなく、高得点で表彰された卒業生もいて、うれしいニュースが次々と届いています!



## 第44回 高校生英語弁論大会

◆外務大臣賞(第1位)  
丸山プレミアG11 齋藤 汐音 (Ariel)

高校生英語弁論大会は全国国際教育研究協議会が開催する大会で、今年も全国の高校生が国際交流、国際協力、多文化共生などに関する5分以内の弁論を競いました。2021年の第41回大会でプレミア卒業生が宮城県勢で初の全国1位となり、齋藤さんは先輩に続く2人目の快挙です。

齋藤さんは、3年前に同じ大会で全国優勝したプレミア卒業生のスピーチを聞き、自分も優勝を目指すとして、タンザニアに医療ボランティアに行っていた経験をもとめて大会に臨んだそうです。

## 第77回宮城県高等学校英語弁論大会

◆宮城県優勝、11月開催の東北大会に進出  
高森プレミアG11 佐藤 樹希 (Ameri)

## 高円宮杯 第76回全日本中学校英語弁論大会 宮城県予選大会

◆最優秀賞、11月開催の全国大会に進出  
丸山ハイスクール8年 上田 裕奈 (Sylvia)

## 第13回ウルスラ英智 イングリッシュコンテスト

◆グランプリ「ウルスラ英智賞」 Show & Tellの部  
丸山フレンドクラブ3年 藤井 匠真 (Lewis)

◆スペシャルサポーター賞「藤崎賞」 暗唱の部A  
丸山年長 林 樹里 (Maggie)

## 英検1級 ◆カナダ大使賞

高森プレミア卒業 三浦 オリザ (Oriza)

三浦さんは、2023年度第3回の英検1級を中学3年時に受験した際、小中学生の中でトップスコアを受験者に贈られるカナダ大使賞を受賞。現在、アメリカのウエストバージニア州に留学中です。



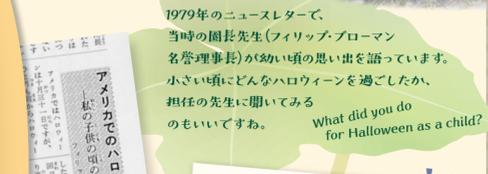
# JAMBOREE

## ジャンボリーの歴史や由来

ハロウィーンは、11月1日の万聖節(All Hallows)前日の晩、すなわち10月31日夜に行われていたヨーロッパの伝統行事に由来すると言われてます。仮装の楽しさと華やかさから日本でも秋の人気イベントになりました。

明泉でも1991年まで「Halloween Party」という名前で実施していましたが、1992年からは「Friends Jamboree」という名称に変えました。「Jamboree (ジャンボリー)」は、パーティーやお祝いの会など、たくさんの人々がにぎやかに過ごす集まりを表す言葉です。

アメリカでは9月末になると家に飾りつけをしたりジャコランタンを作ったりしてハロウィーンの準備をし、10月31日の夜には思い思いの仮装をします。アメリカ人の70%近くがハロウィーン当日にお菓子を配る準備をしていたという統計もあるぐらいの一大イベントです。



1979年のニュースレターで、当時の園長先生(フィリップ・ブローマン 名誉理事長)が幼い頃の思い出を語っています。小さい頃にどんなハロウィーンを過ごしたか、担任の先生に聞いてみるのもいいですね。

What did you do for Halloween as a child?

ハロウィーンの夜は、仮装して手には大きな紙袋、ポケットにはお菓子をもらいます(お菓子を注意していない家の窓には、せっけてんで落書きをしない家の窓になっていました)。お菓子で袋がいっぱいになると急いで家に帰り、別な袋を持ってまた出かけます。本当に忙しいものでした。



フレンドクラブの生徒が10月31日の夜に中央通り付近をパレードしていた時期がありました。その後パレードはなくなり、東日本大震災があった2011年には、復興に向けて仙台の街を明るくできればとパレードを復活させ、2013年まで続けました。

# A Harvest of Memories



フレンド4年5年 東北サファリパーク



フレンド6年プレミアG6 東京旅行



プレミアG5 那須旅行



ジャンボリー



# 英語&体育イベントを開催しました

未就園児プログラム主事 斉藤やよい

6月と7月に開催した「英語&体育イベント」には、多くの未就園児のお子さまと保護者の方々にご参加いただきました。

前半の英語体験は、ジミー先生がギターを弾いたりマジックなども交えながら、歌って遊んで無理なく英語に親しめる楽しい時間となりました。後半は体育の先生が明るく元気に盛り上げ、どのお子さまも汗いっぱいかきながら、身体を思う存分動かして楽しむ姿が微笑ましかったです。園児が日頃使用しているマットや鉄棒も登場し、未就園児に合わせた簡単なサーキットコースにも挑戦してもらいました。1~2歳のお子さまでも、英語の歌や教材をじっ

と見つめていたり、一緒に手を動かしてみたり、次々と繰り出される体育用具に目を輝かせ、興味の向くまま触れたり挑戦したりしていました。ご家族で明泉の英語保育と体育活動の一端に触れ、体験していただくことで、入園への期待を膨らませたり、明泉幼稚園に親しみを持っていただく機会となれば嬉しいです。

英語&体育イベントは、今後も予定しています。ご興味のある方は「明泉学園LINE」に登録し、開催の案内をお待ちください。明泉をご存じないお知り合いの方にも、お伝えいただけると嬉しいです。職員一同、お会いできることを楽しみにしています!



未就園児イベントの詳細はこちら



# 音楽劇に大喜び

## 大学生と音楽で交流

9月、東京都町田市の玉川大学から、教育学部の3年生14人が明泉幼稚園を訪れ、音楽劇「ロシナンテと音楽隊」を演じてくれました。ロバのロシナンテが森の動物たちと一緒に音楽隊を作るオリジナルのストーリー。美しいハーモニーや楽しいキャラクターに子どもたちは大喜び。明泉のSongbookを参考に、子どもたちの知っている曲をたくさん盛り込んでくださったので、園児も一緒になって歌いました。

公演後、学生たちは舞台衣装のまま各クラスに入り、子どもたちと昼食をとって、遊び時間も一緒に過ごしてくれました。これから幼小の教員を目指す学生たちにも、良い経験となったようです。

